

東海村立図書館推薦「家族で読みたい本」中学生・高校生向け（令和4年度版）

令和5年3月作成・東海村立図書館編

	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号
1	100万回生きたねこ	佐野 洋子／作・絵	講談社	100万回生まれ変わっては飼い主の下で死んでいく猫。飼い主たちはひどく悲しみましたが、猫自身は死ぬのなんか平気でした。あるとき、猫は誰のものでもない野良猫となり、1匹の白猫に恋をします。	Eサ
2	くちびるに歌を	中田 永一／著	小学館	みんなそれぞれ色々かかえている。合唱を通して見えてくるその子一人ひとりの苦しみ。合唱を通してその苦しみにみんなが寄り添い、乗り越えていく。クラス合唱は全国的に一般的だったと思います。様々なドラマを生む合唱。お父さん・お母さんの合唱の経験を聞いてみるのもよいのでしょうか。	TFナカタ (一般)
3	DIVE(全4巻)	森 絵都／著	講談社	水泳の「飛び込み」をテーマにしたスポーツ小説。弱小クラブ存続をかけてオリンピック出場を目指し、少年たちの熱い戦いが繰り広げられます。もはやスポーツ小説の定番ともいえる作品で、スポーツ好きな家庭におすすめです。映画化、漫画化、アニメ化、舞台化など様々な展開されているので、併せて楽しむのもいいと思います。	TFモリ (児童)
4	まる、ん？	小泉 吉宏／著	幻冬舎	サブタイトルに「大搦源氏物語」とあるように、この本は源氏物語全54帖を漫画で分かりやすく1冊にまとめた本です。源氏物語に興味はあるけど全部読めそうにないなあという方から、内容は覚えているけど詳しく知らないのでおさらいしたい方にもおすすめです。	913 コイズ (一般) 【チャイロ】
5	魔女の宅急便	角野 栄子／作, 林 明子／画	福音館書店	映画は見たことあるけど、原作は読んだことない、という方が多いのではないのでしょうか？主人公のキキが魔女として立ち立つため、知らない町でいろいろな人たちとふれあいながら成長していく点は一緒ですが、違いもたくさんあります。映画との違いを楽しみつつ、キキがどんな大人になっていくのか、親子で読みながら、想像してみてください（続きが気になる方はぜひ2巻以降も）。	Fカドノ (児童)
6	坊ちゃん	夏目 漱石／著	ポプラ社 他	夏目漱石は人生で1冊くらいは読んでほしい作家です。「坊ちゃん」は、舞台が学校で登場人物が先生と子どもでもとつきやすいものだと思います。親の目線子の目線で違う楽しみ方ができる本だと思うので、ぜひいっしょに読んで感想を話し合ってみてください！	Fナツメ (児童) (一般)
7	「どうせ無理」と思っている君へ	植松 努／著	PHPエディターズ・グループ	この本は技術者で社長の植松さんが、自分の体験をもとに自信が無くて困っている、そもそもどうやって自信をつけたらいいのかわからなくて悩んでいる人に向けて書いた本です。優しく語り掛けるような文章で読んでいて元気になれます。	159ウ (一般)
8	君たちはどう生きるか	吉野 源三郎／著	マガジンハウス	主人公は父親を亡くした中学生のコペルくん。親代わりに見守る叔父さんとのやりとりを通して、日々の出来事を見つめ直し、生き方を考え、成長していく物語です。	159ヨ (児童)

9	中学生から知りたいウクライナのこと	小山 哲, 藤原 辰史／著	ミシマ社	本書はメディアが伝えた情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考え、誰かと共有していくきっかけとなることを願って書かれた本。中学生だけでなく大人にも問いを投げかけます。 国家中心の見方では捉えきれない、あいまいな国境線が縦横に交わる地域の歴史、ここに暮らす人々、その豊かな文化、そして私たち一人ひとりの尊厳と生きる権利について、二人の歴史学者が語ります。	238コ (一般)
10	これから生きる君へ	天野 篤／著	毎日新聞出版	天皇陛下の執刀医として有名な天野先生の著作。すごいエリート街道を歩んできたに違いないと思いきや…。学生時代に麻雀やパチンコにはまり、大学は三浪の末に私立の医学部に入学。様々な挫折を乗り越えながらも心臓外科医として超一流に上り詰めた経歴は、勇気を与えてくれます。受験期を迎える中高生や家族におすすめです。	289ア (一般) 【ミドリ】
11	親の期待に応えなくていい	鴻上 尚史／著	小学館	「親の期待」に苦しめられている中高生だけではなく、「親の期待」をつい押しつけてしまうことに苦しんでいる親にも向けて、作家・演出家の鴻上尚史が伝えます。お互いに思っていることを少しずつでも伝えられますように。	367コ (児童) 【ピンク】
12	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ビレディみかこ／著	新潮社	イギリスの公立中学校を舞台に、日本人の母とイギリス人の父を持つ「ぼく」が、ジェンダーや貧困等様々な偏見・差別にかかわりながら成長していく様子がみずみずしく描かれている。涙ぐんでしまうシーンもあり、考えさせる1冊。最近、続編の2巻も出たので、こちらもおすすめ。	376ブ (一般)
13	グretaたったひとりのストライキ	マレーナ・エルンマン, ベアタ・エルンマン, グレタ・トゥーンベリ, スヴァンテ・トゥーンベリ／著, 羽根由, 寺尾まち子/訳	海と月社	グレタ・トゥーンベリが「行動することの大切さ」を家族に、社会に訴えるまでのことや、人類に迫っている危機「気候変動」について、グレタの家族が語ります。世界各地での「グレタのスピーチ」も多数収録。	451グ (一般)
14	最近、地球が暑くてクマってます。	水野 敬也／著 長沼 直樹／著 江守 正多／監修	文響社	地球温暖化のしくみや今日から始められる温暖化対策が書かれている本です。シロクマが読み手に語りかける形で終始進んでいきますが、説得力があると思います!ご家族で読んだ後に温暖化について話してみるのもいいかなと思います。	451ミ (一般)
15	ディズニーキャストざわざわ日記	笠原 一郎／著	三五館シン	手を抜くこともあれば、ミッションを忘れるほどゲストに対して怒りを覚えることもある。給料が安いと不満を持ったりもする。ディズニーランドで8年間働いた著者の話。ゲストもキャストも楽しく過ごす方法を家族で話してみるのはいかが?	689カ (一般)